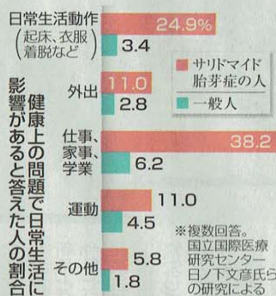


中高年になり健康に懸念

サリドマイド薬害の今

一九五〇年代後半から世界各国で被害者を出したサリドマ
イド薬害、被害者の多くが六十歳前後となり、健康状態が懸
念される一方、海外では新たな被害者も出ている。厚生労働
省研究班代表で国立国際医療研究センター腎臓内科の日ノ下
文彦診療科長に現状を聞いた。



▽対応遅れた日本

サリドマイドは睡眠薬や精神安定剤として五七年、当時の国内企業が五八年に製造販売を始めた。妊婦や子どもにも安全無害だと宣伝した。

ところがサリドマイドを飲んだ妊婦から、先天性四肢障害や聴覚障害などのある赤ちゃんが生まれた。西ドイツでは六一年十一月、医師の警告を受け、発売元の製薬会社が販売を中止し薬を回収。日本では翌六二年に回収が始まり、完了は六三年半ばかりで、対応が遅れた。

サリドマイドによる障害は「サリドマイド胎芽症」と総称される。被害者は世界で数十人、日本では厚生省（現厚生労働省）の認定した人が三百九人。「その倍はいたかもいれない」と言われているとノゾさん。

▽診療ガイド

実際、日本を含む各国では近年、「自分の障害はサリドマイドによるものではないのか」と名乗り出る人がいるという。

ドイツでは二〇〇九〜一七年に百五人、英国では一三〜一八年に二百七十六人が名乗り出て一部がサリドマイド胎芽症と認定された。日本では一五〜一九年に四人が名乗り出ている。

「服用したかどうか親に聞くことができず、親の死後には真偽を見極めたくて、という生活し今も使われており、ブラジルでは新たな被害が生まれている。」

サリドマイドはハンセン病薬として使われており、ブラジルでは新たな被害が生まれている。

こうした現状を背景に英国では昨年、診断基準が作られ、省研究班が今年三月、厚生労働省が診断基準を作成し、生活習慣病対策などをまとめた「三年前に出版した診療ガイドの改訂版も出した。」

「若い医療従事者にはサリ

すこやか
ゼミ

海外では新たな被害者も

生活基礎調査結果と比べて、それによくと、健康状態が「あまりよくない」「よくない」という人は計20%と一般人の13%を上回り、健康上の問題で日常的な動作に影響がある人は25%と一般人の3%よりも多かった。

病気がけがある人は7割近くになり、肩凝り、腰痛、目の病気を挙げた人が二割を占めた。「腕が短いことを訓練によって足でカバーすることができいうちはできたことが中高年になると難しくなり、体の痛みが増してくる。加齢が速く進んでいる印象もある」

研究班は今後、マッサージによる痛みの改善効果を調べるなど、被害者の支援につながる研究に取り組む方針だ。

【新型コロナウィルス感染症で話題になっている抗インフルエンザ薬イブガヒンは、妊婦や男性の精子に影響を及ぼす可能性が指摘されている。薬害が繰り返されぬよう万全を期してほしい】

ドマイド胎芽症を知らない人が多い。診療ガイドを日々の診療やケアに生かしてほしい。

▽支援に向けて研究

日ノ下さんらは一七—一八

年、被害者二百七十四人に健康状態や生活実態を尋ねる調査をした。六割から回答があり、結果を厚労省による一般人を対象にした一六年の国民



厚生労働省研究班が作ったサリドマイド胎芽症診療ガイドの英語版を手にする目ノ下文彦さん＝東京都新宿区で

その他サ症(サリドマイド薬害)に関する新聞記事・発表

いずれも2020年（記事内容については上記東京新聞と概ね同じ）

- | | | | | |
|--------|--------|-----|--|-------------|
| ・7月2日 | 日本海新聞 | くらし | サリドマイド薬害の今
海外では新たな被害者も | 中高年になり健康に懸念 |
| ・7月5日 | 千葉日報 | 健康 | 「すこやかゼミ」
サリドマイド薬害の今
中高年になり健康に懸念 | 海外では新たな被害者も |
| ・7月6日 | 愛媛新聞 | からだ | 四肢や聴覚障害「サリドマイド薬害」
被害者今も健康懸念
病气やけが7割/診断基準 | 国作成 |
| ・7月12日 | 長崎新聞 | 健康 | サリドマイド薬害の今
中高年迎え健康に不安も | 海外では新たな被害 |
| ・7月18日 | 岐阜新聞 | ライフ | 「すこやかゼミ」
1950年代のサリドマイド薬害被害者
年齢重ね 健康不安拡大 | 海外では新たに認定も |
| ・7月2日 | 日本海新聞 | くらし | サリドマイド薬害の今
海外では新たな被害者も | 中高年になり健康に懸念 |
| ・8月1日 | 秋田さきがけ | くらし | 「医療」
厚労省研究班代表・日ノ下さんに聞く
サリドマイド薬害
被害者の健康、どう確保 | 高齢化、新たな認定も |